

第28回靴下求評展審査会を実施しました。

令和5年10月4日、東京文具共和会館にて第28回靴下求評展審査会を開催しました。今年もアイデア・デザイン、技術に工夫を凝らした46作品が17社より集まり、13名の審査員により精力的な審査を行いました。

審査委員は文化服装学院様、織研新聞社様、日本百貨店協会より高島屋様、日本アパレル・ファッション産業協会様など外部有識者6名。ユニオン工業様、及び技能検定試験の審査委員の技術者の方々3名には編立技術を専門に審査いただき、更に販売者目線からの審査員の方など、デザインと技術両面からのバランスを考えて評価をしていただきました。

各賞につきましては、総合点の最高得点作品が経済産業大臣賞、次に高い得票数の作品2点が製造産業局長賞となります。

また、上位3作品を除き、デザイン点が上位の3作品を靴下協会会長賞とし、同じく技術点の得票数上位3作品を工業組合理事長賞としています。

特別賞はSDGsの視点から、全作品を対象にして外部有識者により選出いただきました。

<発表>

令和5年11月10日の織研新聞紙上にて発表いたします。

<審査風景>

審査会 令和5年10月4日（水） 13時～16時 東京文具共和会館

